

目指すべき伊吹山の将来像

土砂災害対策や植生復元事業により、地域の安全・安心を確保するとともに、生物多様性保全の象徴である多様な草花や生き物でにぎわう伊吹山を取り戻す

8合目付近～山頂付近



3～8合目付近



保全・再生の方針

- 地域自生種の残存植生を活かし、種子の拡散、散布等による群落の拡大を誘導する。
- 現地に適した植生を目指し、草本および木本を組み合わせた多様な植生に誘導する。
- 特に、浸食が激しいエリアについては、適切な対策を実施した上で、植生回復を実施する。

③南側斜面(8合目付近～山頂付近)
植生復元事業
裸地に植生基盤を作り、遷移による多様な群落の成立を図る

⑤南側斜面(登山道)
登山道復旧

勝山谷川流域



⑥勝山谷川流域
治山堰堤、砂防堰堤等の整備

山頂お花畑

②山頂・3合目お花畑
植生防護柵の強化

①山頂・伊吹山全域
ニホンジカ対策
(生息調査、捕獲手法検討、
捕獲強化)

登山道

3合目お花畑

④南側斜面(3～8合目付近)
山腹工等
木本および草本を組み合わせた多様な植生の回復を誘導する

